



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

2019年(令和元年)9月度 理事会 議事録

【日時】 2019年9月21日(土) 9:30開始 - 12:20終了

【場所】 神田 Mixer および Zoom

【出席者】 事務所 5名 Zoom4名 計9名

(事務所) 森山、稲葉、太田、義本、植村監事

(Zoom) 西久保、小口、森口(11:00まで、以降会長委任)、土屋監事

【欠席者】 藤村(会長委任)、川瀬(会長委任)、奥野

【審議開始準備】

- ・ 議事進行者、書記、議事確認者を議長より指名 書記:稲葉、承認者:森山、西久保、義本
- ・ 前回までの理事会からの宿題事項確認 … 各審議事項、報告事項の中で対応

【審議事項】 (審議希望事項と提議者・部会名を記載のこと)

1. 会員数推移 (会員:小口、Shiryo S01)

7月度理事会後 PE181名 PEN63名 FE65名 AF29名 ST10名 合計348名

9月度理事会後 PE180名 PEN64名 FE65名 AF28名 ST10名 合計347名

- ・ 新入会員、退会者の提示・確認が行われた。
- ・ 現在わかっている退会予定者には、シニア会員の該当者がいるので、一声かける。

会長より、特に社会人ドクターなどの学生会員対象者をどのように区分するかについて、提起があり、意見交換した。主な意見は以下の通り。

- ・ ドクターコース取得中の方がいるが、同時に社会人として働いている。その場合の扱いは、学生会員になるか、社会人になるか？
- ・ 収入の有無を判断材料にすると、収入量で線引きが難しくなる。
- ・ ソフトウェアのアカデミックプライスでは学生証など学籍を判断材料としている。

決定事項:

- ・ 学籍があれば、学生会員として認める。
- ・ 学生としての確認は、学生証の提示・在籍研究室のホームページなどを求める。

また、学生から社会人になっても一般会員への申請をしないケースが散見される問題について会員部会から提起があり、意見交換した。主な意見は以下の通り。

- ・ 申請時に卒業予定年を提示してもらい、会員部会から確認をできるようにする。
- ・ 毎年学生会員の更新確認をする。→会員部会の負荷が高くなる。

決定事項:

- ・ 議論を踏まえて学生会員の更新方法の草案を会員部会が理事に連絡する。



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

2. NSPE 年会費値上げ動向と Agreement 見直しの考え方について (渉外: 森山、義本、Shiryo S02)
- 2019年1月からNSPEの年会費が\$154から\$299に値上げされ、JSPE会員の中でNSPE会員になっている者にとって大きな負担が生じている。ついては、NSPEとのAgreementを振り返り、今後の対応について提案する。
- 年会費値上げとその対応について情報共有化、Agreementの改訂打診の可否、Agreement改定案の記載内容について以下の通り審議した。
- ・ 6月にNSPEのエイトキン会長が来日した際に、この旨(会費の引き下げ要求)を話し、Agreementの内容見直し案を提出している。背景としては、Agreementが結ばれたのは20年前であり、内容が現状のNSPEのBylawと一致していない。
 - ・ 会費の引き下げが実施されない場合のリスクはJSPE内のNSPE会員が減少することであり、その会員数が10名を切ったら、Agreementの効力がなくなる。今までは下回ったことはなかった。
 - ・ Agreementの見直しについてはJSPEのあり方も整理した上でNSPE側へのメリットを示せる内容にする必要がある。
 - ・ 現在Agreementの内容見直し案はNSPEに投げかけており、会費の引き下げについてはNSPEのボードで議論しているため、ウォッチしている。

決定事項:

- ・ 引き下げ要求のこれまでのアクション、今後のウォッチ、およびAgreementの内容見直し活動について承認された。今後も渉外部会が対応する。

3. 理事の役割分担と今後の計画について (事務局: 森山、Shiryo S03)

理事の役割分担について、部会活動を一段階ブレークダウンした具体的取り組み内容を共有化した。これは他の理事がどんな活動をしているか知るとともに、相互に補って協力し合うことも見据えているものである。

内容について過不足、修正の必要を確認し、効率的に活動を進めていけるよう、最適化も含めて審議いただきたい。

これらは概ね定常業務について記載しているが、年度も半分を終了し、今後の計画やJSPEとして取り組むべき内容を集中して討議できる機会を半期終了後の10月中に設けたいと思うので、実施の可否、取り上げる議題などについて以下の通り審議した。

- ・ 役割分担表について一部訂正のコメントがあった。(入退会処理について、シラバス支援→PE登録支援など)
- ・ 会計部会で今までの伝票処理などが滞っているため、確認を要する。会計部会内で協議の上役割分担などを見直す。
- ・ 2か月に1度の理事会では各部会の活動内容・進捗をお互いに確認できるようにしたい、会計部会も伝票処理の進捗など、定常業務の内容でも良いので、今後は報告してほしい
- ・ 理事以外に部会員の協力も求めた方がよい。

上記議題と議論の内容を踏まえて、監事より以下の提起があった。(理事会終了前のコメントも関連するため、合わせて記載する)

- ・ 9月末で上期が終わる。来年度の予算組などのため、現状の収支の確認を11月の理事会でしたい。9月末でデータが、税理士へ渡っていれば、集計が可能である。
会計ソフトの機能で「残高試算表(9月末メ)」を出力してもらえれば、正味財産計算書(PL)および貸借対照表(BS)の上期状況が示せる。この依頼だけなら税理士にも、それほど多くの手間を掛けさせることにはならない。加えて、もし会計部会で部会毎、あるいは事業種別毎の収支明細などの管理会計(内部チェック目的)データがあれば、各部会にとっては振り返りが容易になる。
- ・ 各部会が行っている活動の振り返りを報告してもらいたい。



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

- ・ 会長・副会長には、4 月意見交換会の内容も踏まえて、今後の長期的目標と課題リストを作成し、理事会で審議する。

決定事項:

- ・ 監事からの提案に関しては、10 月には時間もないので、11 月理事会の拡大開催も念頭に置き、集中討議の場を検討する。
- ・ 各部会の活動振り返りについては、今年度上期の活動、課題、下期の計画、予算執行状況などを整理するフォーマットを作成する。

4. シニア会員創設案について（会員、Shiryō S04）

7 月の理事会で継続審議となった“シニア会員”について意見を踏まえ見直をした。これに伴う細則の改訂案も含め、森口理事より説明がなされた。以下にポイントを示す。

- ・ 前回提示の草案は、PE 会員以外の方もシニア会員になれる内容であったが、今回は除外した。
- ・ 年会費は前回提示と同じ 6,000 円。入会時期(4-9 月、10-12 月、1 月、2-3 月)による。

内容は概ね了承されたが、以下の議論があり、一部見直すこととなった。

- ・ 申請の受付期間はいつまでにするのか？
- ・ 移行措置対象のすでに退会された方は、この取り組みを知ることが難しいため随時受付としたい
- ・ 移行措置であれば期限を設けた方が良いが、現時点で時期を明記せず“当面は”と追記する程度で良いと思う。
- ・ 細則案で再入会の移行措置については括弧書きになっているが、今回は例外的に正規退会者も条件を満たせばシニア会員として再入会できることを、細則の本文で明確に記述すべき。

その他コメント

- ・ 以前の理事会で退会者の要因分析を行った際に、在会のメリットと維持費用が釣り合っていないというものがあり、この制度は、歯止めの対応でもある。
- ・ 退会時に連絡先は削除済みであり、退会者へのメールなどによる通知の連絡はできない。現会員へは、広報部会から、ホームページの掲載およびメールでの通知とする。当該会員への口コミも有力必要かもしれない。

決定事項:

- ・ 会員部会で細則の文章見直し、メールで共有し理事会として確認する。
- ・ その後、会員部会から案内文を見直し、広報部会が会員向け配信を行う。

【報告事項】（報告予定事項と提議者・部会名を記載のこと）

1. イベント報告（教育）

教育部会、企画部会より、鬼金などイベントの実施状況を口頭で報告

- ・ 8 月 28 日、エンジニアズサロン:Web 視聴実施
- ・ 9 月 7 日、鬼金セミナー:Web 視聴実施

アンケートで得られた意見として、鬼金の開始時間、鬼金の方式(PMBOK®の内容説明の強化)などがあつた。

開始時間を早める(午後→午前)のは、遠方(北関東など)から来ている方、会場準備があるため、難しい



2. 横田基地オフ会のイベント報告（教育：稲葉、森山、Shiryo H02）

初めての試みで9/14(土)にJSPEのオフ会を実施した。横田基地で行われたフレンドシップデイに伺い、JSPE会員(米軍技術士会(SAME)メンバー)のEric氏と交流した。他のSAMEメンバーとの交流を図ったが、フレンドシップデイの作業が多忙なようで、コンタクトが取れたのはEric氏のみだった。今後、SAMEメンバーと日程調整の上、見学会など企画することを約束した。

実施報告は写真とともにウェブにアップした。以下捕捉のコメント。

- ・ SAME側から日本人エンジニアとの交流や日本のインフラ施設見学の機会を求める要望がある。
- ・ 講演を開催する場合、言語の問題が出るため、見学会などから進めていくことを部会員中心に画策している。

3. 役員内の情報共有(Webサイトの構築、秋号マガジン)（企画・広報：西久保、Shiryo H03）

JSPE会員ホームページに“会員からの寄稿”のページを追加：基本となるフォームを作成したため、今後、過去の原稿を順次掲載していく。

JSPEマガジン秋号は、資料にある目次の構成で編集中。9/22出稿予定。理事・監事の方へお願いしている「2019-20年度JSPE役員からの抱負」に加え、「PE・役員になって良かったこと」の原稿を提出いただきたい。

以下捕捉のコメント

- ・ ウェブページの更新方法について8/14,16に、企画・広報・教育部会でZoomを使ってレクチャーを実施した。当日の動画もあるので、理事会で共有する。

4. 登記手続きなどの終了報告（事務局：森山）

8/2の法務局事前相談、8/23の補正申請を終え、8月末ようやく登記手続き(理事の交代)が終了した。今後は再度、事務所移転に関わる申請が予想されるため、理事会議事録など準備して行く。

5. CPDセミナーのweb視聴対応状況の共有（教育・広報：西久保、Shiryo H05）

セミナーのweb視聴対応の準備を進めており、9月のCPDセミナー2件(9/7鬼金、9/28JSPE day)はトライアルとして無料で進め、10月から本格運用するべく準備を進めている。

現時点でセミナーのweb配信が対応済み(年会費約21,000円のzoomを利用)。残る課題2点(参加費の決定と徴収、PDH発行の条件付け)を9月中に対応する予定(参加費の徴収手続きに手間取っており、対応状況によっては10/5の鬼金は振り込み対応となる予定)。

PayPalによる決済を用いるため、JSPEへの振り込みは約5%減となる見込み。今後のCPDセミナーでは、会員限定であれば講演資料を公開していいと許諾を受けておき、セミナーの録画結果を用いた後日のPDH発行も検討していく(本条件はライブでのweb配信対応後に検討する)。

また、web受講者の理解度を確認するためのQuiz(セミナー内容に関する○×形式10問)を講師に作成いただき、60%以上であればPDH発行を認める方針。

PCなどのセミナー開催に必要な物品については、所定の条件を満足していれば個人所有の物品(特にPC)の利用をお願いしたい。その際、市場でのレンタル価格の半額を目途に支給する(現時点では、PC3,000円、Wi-Fi1,000円)。

Web受講確認方法について以下の意見交換がなされた。

- ・ クイズの作成は内部講師の場合、ある程度事前に説明があれば可能かと思われるが、外部講師に依頼するのは人によって難しいと思う。
- ・ 6月にエンジニアズサロンの講師をやったが、クイズの作成依頼があったら、断っていたかもしれない。クイズの提供が前提の講演だと内容が変わるかもしれない。
- ・ 基本の目的は、Web視聴者の受講確認であるが、もし、クイズを実施するなら会場出席に対しても内容理解のため実施するべき。



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

- ・ やり方はクイズだけではなく、感想文の提出などもあるのではないかと？また、講師へのフィードバックにもなる。
 - ・ クイズ形式を実施している例示(米国コンクリート学会の理解度テスト)
 - ・ 直近の JSPE Day の講演に関する対応の素案・確認状況の確認。
 - ・ 直近の JSPE Day については、既に参加募集や講演者への依頼事項も出してしまっているので、今の段階で WEB 参加者に理解度テストを行うことや、講師への録画可否を問うことは見送りにする。事前に明確化した場合に実施したい。
6. 機械学会 (渉外:森山、Shiryō H06)
川村前会長から機械学会での講演について報告をいただいたので、共有する。
7. メール大喜利 (企画:森山)
川村前会長による機械学会での講演や 機械学会誌 1月号への投稿、JSPE 本出版企画の基本情報整理もかねて、メール大喜利のテーマ案として「PE 制度の歴史ふりかえり」が提案された。
近日中にメールリングリストの立ち上げ準備を行う。
- ・ 一旦役員メンバーを入れてメールリングリストを立ち上げる。
8. 三重大 (土屋、Shiryō H08)
三重大学機械工学特別演習(Engineering Economics)実施報告。昨年度の反省に基づき、今年度からは同講義を2週連続2回に拡大した。その結果、課題レポート採点結果や受講生フィードバックに見られる通り、一定の効果が得られた。次年度は、講座担当教官との懇談会を持つことにより、演習の質を高めていくこととなった。尚、本活動は年次報告においては、教育部会活動の一部として使って欲しい。
9. 会員登録情報への年会費納入状況の表示(会計/会員 小口、Shiryō H09)
ウェブサイトの会員登録情報に管理者(=担当理事)による「JSPE からの連絡事項等」の欄を新設し、そこに年会費の納入を記載する改修を行った。現在、役員については、2018、2019 年度分の入金状況を仮表示している。その他の情報も記入可能である。これでよければ、全会員について記載することとしたい。また、会員へのアナウンスをマガジンにて行うこととしたい。
内容について了承された。
10. NCEES CE 結果のデータベース化 (会員 小口、Shiryō H10)
これまでの NCEES Credentials Evaluations の結果をまとめた。これを理事、メンター部会員、シラバス支援会員へ公開することにしたい。会員はこれを活用し、これで自己判断できない場合は、学歴評価支援を申し込んでいただく。会員の利用料は無料とするが、このデータを利用された方は、CE 結果を元の科目名(和英)とともにフィードバックいただくことを条件とする。この案について以下の意見交換がなされた。
- ・ 得られたデータベースは情報量も多く、JSPE の理事、会員の協力があって作られた重要な資産と考える。ウェブサイトで一般に公開は行わない。
 - ・ 方式は上記にあるようにシラバス支援申し込み者に公開する。
 - ・ 活用としては、受講者のシラバスの支援、情報の蓄積、会員のモチベーション向上などがあり、今後、運用方法について議論したい。



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

11. 協力団体リストの改訂(事務局 小口、Shiryo H11)

発送物が不達となったため登録情報の変更が必要ことが判明した。改訂案を報告した。以下の情報を反映して見直しをする。

- ・ 東大の情報と三重大の情報に更新が必要であり、それぞれ植村監事と土屋監事が状況を確認して会員部会・渉外部会に連絡する

【次回理事会予定】 11月16日(土) 9:30～ 会議室 Mixer

【議事承認印】

承認	森山 亮 
承認	義本正実 
承認	西久保 東功 
書記	船葉 光亮 